

昭和58年度学会活動報告

○昭和58年3月25日 「会報」№5を発行する。

○昭和58年5月28日 第4回例会が筑波大学附属中学校で開催される。

1. 研究協議会テーマ：「現代社会」の指導計画とその実践をめぐって
発表および題目

(a) 梶 哲夫氏（筑波大学教育学系）

「『現代社会』の指導計画とその実践をめぐって」

(b) 高柳英雄氏（学習院女子部）

「“総合性”を重視した『現代社会』の年間指導計画の立案について」

(c) 古山良平氏（都立小金井北高校）

「『現代社会』の指導計画とその実践をめぐって」

2. 幹事会

○昭和58年6月30日 「会報」№6を発行する。

○昭和58年9月24日 第5回例会が筑波大学学校教育部で開催される。

1. 研究協議会テーマ：「教科書分析の課題と方法」

発表および題目

(a) 木山徹哉氏（筑波大学DC院生）

「先行研究の全般的な傾向と分類」

(b) 宮園 衛氏（筑波大学DC院生）

「馬場四郎『明治以降日本史教科書の研究 — その類型と content analysis —』の検討」

(c) 松本 敏氏（筑波大学DC院生）

「上野実義『歴史教育における比較法の研究』の検討」

(d) 松岡敏尚氏（筑波大学DC院生）

「2つの事例に見られる分析方法の批判検討」

2. 幹事会

○昭和58年11月5日 「会報」№7を発行する。（会員名簿同封）

○昭和58年11月26日 第6回例会が筑波大学附属中学校で開催される。

1. 公開授業（中学校1年〈世界的分野〉）

授業担当者

(a) 渋沢文隆先生(第3時限)

「中世の農村と農民」

(b) 朝倉啓爾先生(第4時限)

「ローマ帝国とキリスト教」

2. 研究協議会テーマ：中学校社会科の融合分野の創造 — 地歴両分野の融合の試み —

公開授業反省会

「中世の農村と農民」の授業をめぐって

発表者 渋沢文隆氏 司会 二谷貞夫氏

3. 幹事会

○昭和58年12月22日 「会報」№8を発行する。

○昭和59年2月11日 筑波大学社会科教育学会第3回大会が筑波研修センターで開催される。

1. 修士論文発表会(MC 58年度修了生)

2. シンポジウム：テーマ「国際理解教育の新たな展開を求めて」

(a) 岡 憲司氏(筑波大学MC院生)

「国際理解教育の実践的課題」

(b) 二谷貞夫氏(筑波大学学校教育部講師)

「インド洋世界史の試み」

(c) 徳田教之氏(筑波大学社会学系教授)

「日中間の相互理解をめぐって」

(d) 李 元淳氏(ソウル大学校師範大学教授)

「国際理解の視点に立った歴史教育」

3. 総会

4. 懇親会